



立て心よ 行け私よ

No. 11

文責:

令和6年のスタート 今年もよろしくお祈りします

3学期始業式校長先生のお話より



新しい年を迎えましたので新年の挨拶をしたいと思います。

「新年 あけましておめでとうございます」

と、言ってはみたところですが、心から「おめでとう」とは、なかなか言えない現実があります。元日の夕方に起こった能登半島大地震、須坂、高山は数字上は震度3ということでしたが、かなり長く大きな横揺れがあり、ここ数年感じたことのない恐怖を感じました。日を追う毎に明らかになってきている石川県を始めとする北陸地方の被害の甚大さに、心が痛む新年となりました。今後、自

分にできることは何かを模索し、実行していこうと思っています。

さて、皆さんはどんなお正月でしたか。短い期間でしたが、きっと楽しい思い出ができたことと思います。私は皆さんがケガや事故もなく元気で登校してくれたことを本当にうれしく思います。

本年、墨坂中学校の生徒の皆さんと先生方、そしてそれぞれのご家族の皆さんが健康ですばらしい一年になることを祈っています。

さて、今日から3学期が始まります。47日しかありません。とても短い学期です。しかし、3学期は、とても大切な学期です。なぜでしょう？

1つ目は1年間の学習や生活のまとめの学期だからです。2つ目は卒業・進級につながる学期だからです。3つ目は来年度に向けて準備の学期だからです。

先ほど、各学年の3名の皆さんが代表で3学期や今年に向けての決意を述べてくれました。自分の目標について発表してくれました。また、聞いていた皆さんもきっと自分と重ねて真剣に聞いてくれたことと思います。

1年生 さん、2年 さん、3年 さん、それぞれに、自分の生活を振り返ることからできた確かな目標ですね。素晴らしいです。きっと皆さんも、2024年、令和6年の年頭にあたり、それぞれ新年の誓いを立てたことでしょう。ぜひ、それに向けて具体的に動いてください。

さて、今年の干支は何ですか？そうです。辰です。十二支の内、唯一架空の動物ですが、いろんなことわざや昔話や故事に登場しますね。

今日はその辰年にちなんで「竜」の字がついた故事成語について話します。これですが、なんと読みますか？「画竜点睛」(がりょうてんせい)と読みます。12月の生徒会目標に掲げられていましたね。

この言葉、まず色々間違えやすいですね。「がりゅう」ではなく「がりょう」、晴れるの「晴」ではなく「睛」ですので注意して下さいね。睛の字は「ひとみ」の意味で、「目」を表しています。ちなみに12月の生徒会目標の画竜の竜の字は、簡体字：難しい漢字を簡単に略した字体だそうです。





この「画竜点睛」の故事は次の通りです。

中国の昔の王朝「隋」は知っていますね。遣隋使の隋です。その隋の一つ前が南北朝時代といって、その南朝にあった王朝が「梁(りょう)」です。502～557に栄えた王朝です。その国に張僧繇(ちようそうよう)という名の画家がいました。この画家の絵の技術はすばらしく、当時の梁の皇帝である武帝は多くの寺院の絵を彼に描かせたと言います。

ある年、武帝は彼に健康(今の南京)の安楽寺の壁に4匹の竜を描くよう命じました。承知したその画家「張僧繇」はわずか3日間で絵を描き終えました。この絵の中の竜は生き生きとしてまるで本当に生きている竜のようです。見に来た人々は感嘆の声を挙げ、まるで本物の竜だとほめたたえました。しかし人々が近寄ってよく見ると、これら4匹の竜には目がありません。そこで皆は目を入れてくれるようその画家に頼みました。すると彼は「竜に目玉を入れるのは簡単ですが、しかしそうするとこの竜は壁からとび出して飛んでいってしまいます」と言うのです。

人々は誰もこんな話を信じません。こいつはいい加減なことを言っている、壁に描かれた竜がどうして飛んでなどいくものかと。やがて多くの人々がこいつはうそつきだと言いふらすようになりました。その画家はしかたなく「わかった。それでは竜に目を入れよう。ただし4匹の竜のうち2匹だけだ」と皆に約束しました。その約束の日、寺の壁には大勢の見物人が集まりました。画家はみなの前で筆をとると静かに竜の目を入れます。すると、どうしたことでしょう…。彼が2匹目の竜に目を入れたところ、しばらくして空には黒い雲が広がり、激しい風が吹き、雷鳴がとどろき、稲妻が走ります。そしてその雷鳴の中、目が描かれた2匹の竜が壁を破って起き上がり、牙をむき出し爪を躍らせるようにして天空に飛び去っていったのです。やがて雲は消え、また空は晴れ渡り、人々は茫然として口もきけません。もう一度壁に目をこらすとそこには目玉のない2匹の竜が残っているばかり。あの目の入った竜はどこにもいなくなっていました。というお話です。

このお話から、画竜点睛という故事成語が生まれました。その意味は、「物事を中心となる大切なところ」「最後に大切な部分を付け加えて、物事を完全に仕上げること」「最後の仕上げ」という意味です。

「画竜点睛を欠く」という使われ方も多いので、合わせて覚えておきましょう。意味は「肝心な仕上げができていない」「詰めが甘い」という意味です。

始めに話したように、皆さんにとって3学期は1年のまとめの学期です。3年生は特に中学校生活、いや義務教育の仕上げの学期です。全校生徒の皆さん、最後の仕上げ、画竜点睛をしっかり意識して「立て心よ 行け私よ 行けあなたよ」を実行し、充実した3学期を過ごしましょう。



学校評価 保護者アンケートより

先日は学校評価保護者アンケートへのご協力を賜り、誠にありがとうございました。家庭数 423 家庭中、386 家庭にご回答(回答率91%)をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本アンケートは、墨坂中学校のグランドデザインでお示した【評価指標】(墨坂中として育成する資質・能力「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」の達成度合を見る上で目標として設定した数値)を基に項目を作成し、ご回答いただきました。

本アンケート結果は、全職員で共有し、保護者の皆様の願いや想いに寄り添えるよう、努力して参りたいと考えております。

Ⅰ 保護者アンケートの概要

全17項目で評価を実施しました。

(1) 学校生活全般について

8項目中5項目の肯定的評価(「あてはまる」「ややあてはまる」)が85%を超え、高い値となっています。

一方で「①生徒は、学校に誇りを持ち、喜んで通学している」の項目が78.7%と【評価指標(自己更新力)】である85%に届きませんでした。特に肯定的評価がされなかった21.3%のご家庭・生徒にしっかりと寄り添い、ご家庭・生徒の皆さんの声に耳を傾け、生徒の皆さんがより学校に来たいと思えるように教職員全体で改善をしていきたいと思ひます。

「②学校生活において、生徒は互いに協力し、頑張っていることを認め合っている」については、89.4%と【評価指標(他者関係力)】の90%に近い値となりました。今後も感染症対策等に配慮の上、友と関わる活動を積極的に取り入れていくようにしていきます。

「⑧学年の2人担任制や1・2学年のローテーション担任制(一定期間、固定担任とローテ担任の2人が学級担任になる)が有効に機能している」については82.8%でした。【評価指標(自己更新力)】の90%には届きませんでした。全ての学級を二人担任制にするには現在の教員数より多くの教員が必要です。そのため1・2学年を「期間のある二人担任制=ローテーション担任」としました。生徒からは肯定的な意見が見受けられ、多くの生徒がより多くの先生と接する機会が増えていることを実感しています。生徒にとってよりよい教育環境になるよう、生徒一人一人の声に耳を傾け、多くの職員が二人担任やローテーション担任であることの利点を生かしつつ、真摯に対応して参りたいと思ひます。

(2) 学習について

肯定的評価が6項目中4項目で80%を超え、平均は82.3%でした。

「⑨先生は、授業改善・学力向上に努めている」で87.7%と【評価指標(問題解決力)】の80%を超え、授業環境の改善への取り組みを評価していただきました。また「⑫墨坂中学校の生徒は、きちんとあいさつをすることができる」が83.6%であり【評価指標(他者関係力)】の80%を達成しています。

一方で「⑩授業が分かりやすく、生徒が楽しく学べている。」は肯定的評価が77.3%と【評価指標(問題解決力)】の80%に届きませんでした。生徒への同様の質問「授業がわかる」への肯定的評価は90.5%とこの差を埋めるために、更に分かりやすく、楽しみながら力がつく授業の提供を心がけていきたいと思ひます。「⑪生徒は、復習や課題の提出など、家庭学習の習慣ができてい」への肯定的評価は64.6%であり、【評価指標(自己更新力)】の75%には届きませんでした。生徒の「⑬宿題以外に、予習や復習など自分の考えた学習を家でしている」が70.7%だったことも踏まえ、今後、自律的な学習、主体的な学習を後押しするための実態把握を丁寧に行い、然るべき方策を検討して参りたいと思ひます。

(3) 家庭と学校の連携について

「⑮学校の教育方針や情報などが、学校だより、学年だより、学級だより等で保護者に分かりやすく伝えられている。」では93%となっております。今後もHP上での発信も含め、学校からの情報発信を心がけて参りたいと思ひます。

一方で「⑯保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している。」は50.1%となりました。今後も授業参観等で生徒の皆さんの様子を見て頂ける機会を設けて参りたいと考えております。「⑰知りたいことや相談したいことがあったとき、気軽に学校へ連絡することができる」の肯定的評価が71.7%でした。年2回行われる保護者懇談会や学年・学級PTA等での機会に加え、日頃から学校での生徒の様子がご家庭に伝わる工夫を大切にして参りたいと思ひます。どんな些細な事でも気になることがありましたらお気軽に学校へご相談いただければと存じます。

2 学校評価保護者アンケート記述(質問・意見・要望)について

貴重なご意見を多数いただき、心より感謝申し上げます。今後の教育活動に生かすことができるよう努めて参ります。

生徒の様子で心動かされたエピソードをいただきました。

「音楽会を鑑賞させていただきました。全生徒一人一人がしっかりと合唱に参加しており、迫力ある歌声に涙が出てしまいました。」など、墨坂祭や部活動で生徒が活躍の様子を多数投稿いただきました。また「クラスの異性の友達と歩道ですれ違った際、こちらは母親と一緒に、友達は集団でした。年頃なのか？恥ずかしかったのか 挨拶もなくすれ違いました。すれ違いざまに、私と目を合わせて優しい笑顔でニコツとしてくれて、声を出さずにさり気ない気遣いを感じました。粋な計らいができる中学生にあっパレでした。」「子供達が横断歩道など渡る時に、車が停まっていると、しっかりおじぎして渡る姿をみて、気持ちよくこちらにもこやかになれました。」と、心温まる場面もご紹介いただきました。中学生期という思春期真っ只中を生きる子どもたちの成長を、これからも保護者の方々と一緒に後押ししていきたいと思えます。

今後も継続して欲しい活動等に関わって「授業参観や墨坂祭などを見学することができて良かった」「人権講演会の内容が大変参考になった」「学級総合の活動がとても良かった。今後も校外活動や地域と連携した活動は大切にしたい」「3 学年対象の放課後学習サポートの時間がありがたかった」などのご意見をいただきました。次年度も引き続き継続すると共に、よりより活動に向けた改善に努めて参りたいと思えます。

なお、学校からの返答を希望された方々には、別途、対応させていただきました。

各項目の肯定的評価の割合と評価指標

(1) 学校生活全般について	肯定評価	評価指標
生徒は、学校に誇りを持ち、喜んで通学している。	78.7	85%
学校生活において、生徒は互いに協力し、頑張っていることを認め合っている。	89.4	90%
墨坂中学校は、命の大切さや仲間の大切さについてきちんと教えている。	89.5	
先生方は、お互いに協力しながら、個々の生徒に合った適切な指導に当たっている。	85.8	
先生方の声掛けや指導に対して、生徒もこれを素直に受け入れている。	87.6	
墨坂中学校は、将来の生き方や進路について適切に指導している。	87.4	
墨坂中学校の施設や環境は、教育環境にふさわしく管理されている。	93.9	
3 学年の 2 人担任制や 1・2 学年のローテーション担任制(一定期間、固定担任とローテ担任の2人が学級担任になる)が有効に機能している。	82.8	90%
(2) 学習について	肯定評価	評価指標
先生は、授業改善・学力向上に努めている。	87.7	80%
授業が分かりやすく、生徒が楽しく学んでいる。	77.3	75%
生徒は、復習や課題の提出など、家庭学習の習慣ができています。	64.6	70%
墨坂中学校の生徒は、きちんとあいさつをすることができる。	83.6	80%
学校や地域で見かける墨坂中学校の生徒は、マナーやルールを守って行動している。	87.0	
生徒は、キャンプ、職場体験学習、修学旅行、文化祭などの行事を楽しみにしている。	93.6	
(3) 家庭と学校の連携について	肯定評価	評価指標
学校の教育方針や情報などが、学校だより、学年だより、学級だより等で保護者に分かりやすく伝えられている。	93.0	
保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している。	50.1	
知りたいことや相談したいことがあったとき、気軽に学校へ連絡することができる。	71.7	